

## (参考)令和5年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

## 高松公共職業安定所

| 項目       | 目標値  | 年度の事業計画の概要  |
|----------|--|---|
| 主要指標     | 就職件数(一般)   | 6,292件<br>【プラスサービスの実施】<br>労働市場の分析及び自己理解が不十分なため不採用を繰り返す者を中心に、プラスサービスによる就職支援を実施します。特に履歴書・職務経歴書の添削指導、面接のマナー、心構えについて重点的に実施します。<br>【積極的な能動的マッチングの実施】<br>求人充足会議における支援対象求人や新着求人等を中心に、窓口において提案、紹介等の積極的な能動的マッチングを行います。また、説明会やセミナー等への参加勧奨も積極的に実施するほか、一方向型の求職者担当者制も積極的に実施します。  |
|          | 充足数(一般、受理地ベース)   | 7,395件<br>【充足会議を利用したマッチング推進】<br>充足会議で支援対象求人を選定し、窓口情報提供やDM、館内掲示、情報誌掲載など充足に向けたマッチング推進を図ります。<br>【求人票掲載以外の情報の共有】<br>求人者支援員が訪問した事業所については可能な限り写真を撮影、充足会議の場で訪問時の様子、写真紹介を行うとともに聞き取り情報の周知をし、詳細な情報共有を図ります。(支援対象求人に限らず行うこととします。)<br>【応募の無い求人へのフォローアップ】<br>受理後3週間の時点で応募の無い求人に対し、求人者支援員がDM送付等の連絡による接触を行い、氷河期世代等の専用・歓迎求人やトライアル求人への変更・賃上げを含めた条件向上の提案を行うことで、常に充足に向けた支援を実施します。 |
|          | 雇用保険受給者の早期再就職件数  | 1,798件<br>【就職活動説明会への積極的な参加勧奨】<br>就職活動説明会を開催し、積極的な参加勧奨により早期再就職の意欲喚起と就職関連情報等の提供を実施します。<br>【給付制限中の来所勧奨相談の実施】<br>給付制限中の最初の認定日応当日に来所を勧奨し、職業相談時には求人情報、各種セミナー等の支援メニューの提供を行います。また、緊要度・就職意欲が高いと判断される者、就職活動のプロセスに複雑又は深刻な課題を抱える者、及び業種間・職種間移動による再就職を希望する者については、担当者制による支援を実施します。   |
| 所重点指標(※) | 生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率                                   | 64.6%<br>【支援対象者数の確保】<br>ハローワークを利用している生活保護受給者等で地方自治体と連携した就労支援が必要と思われる者に対し積極的に支援要請を行います。<br>【児童扶養手当受給者に対する本事業への積極的な誘導】<br>児童扶養手当受給者が地方自治体に現況届を提出するタイミングに合わせて、地方自治体にハローワークの臨時相談窓口を設置し支援を行います。  |
|          | 障害者の就職件数   | 378件<br>【就職面接会等の開催】<br>就職を希望する障害者と雇用率未達成の企業が一堂に会しそれぞれが条件に合った就職が実現できるよう障害者就職面接会を開催します。併せて、近年増加している精神障害者、発達障害者を雇用したことがない企業等にそれぞれの特性や雇用管理上のポイント等を講義形式で助言するワークショップを開催します。<br>【雇用率未達成企業への指導】<br>障害者雇用率対象企業のうち障害者雇用ゼロ企業を重点指導対象企業とし、雇用指導担当と紹介担当が連携し、全ての対象企業を訪問することで雇用率の達成を目指します。<br>【就職を希望する求職者への支援】<br>特別支援学校、障害者就労支援機関等と連携し、就職を希望している求職者への支援強化を図ります。               |
|          | ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～54歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 681件<br>【就職氷河期世代サポートコーナー窓口での支援】<br>履歴書や職務経歴書の添削指導及び面接のマナー・心構えについての助言を重点的に実施します。<br>【相談会、セミナーの開催及び積極的な参加勧奨】<br>相談会、セミナーを開催し、積極的な参加勧奨により、就職意欲の喚起、就職活動の支援及び就職関連情報提供等を行います。   |
|          | わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーター等のうち、正社員として就職した者の割合          | 65.0%<br>【多様なニーズに応じた支援の拡充】<br>応募書類の作成や面接の知識が不足している若者に対し、求職者担当者制を活用した応募書類の添削や模擬面接などのきめ細かな支援を実施します。また、自己理解・自己分析やコミュニケーションの取り方についてグループワークを含めた若者向けセミナーや業界理解・職業理解を深めるための面接会等を開催するなど、正社員就職の促進を図ります。   |
|          | マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率             | 95.1%<br>【就職支援の拡充と関係機関との連携の強化】<br>求職者担当者制を実施し、求職者のニーズに合わせた情報提供など積極的な能動的マッチングを実施します。また、マザーズ企業説明会等を開催し、マッチングの精度の向上を図ります。さらに、関係機関の見学やマザーズコーナー見学会を開催することにより、相互誘導を図る体制を構築し、潜在的求職者の掘り起こしを図ります。加えて、出張相談などアウトリーチ型の支援を展開します。   |
|          | 生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数                                   | 114件<br>【生涯現役窓口での支援対象者数の確保】<br>生涯現役窓口での支援対象者数を確保し、担当者制による能動的マッチングを実施します。(個々の特性に応じた支援の実施)<br>【相談会、セミナーの開催及び積極的な参加勧奨】<br>相談会、セミナーを開催し、積極的な参加勧奨により、就職意欲の喚起、就職活動の支援及び就職関連情報提供等を行います。  |

※ 年度ごとに、地域の雇用に関する課題を踏まえ、安定所が特に重点的に推進し成果を挙げる必要がある業務を目標としている。

## (参考)令和5年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

## 丸亀公共職業安定所

| 項目       | 目標値  | 年度の事業計画の概要   |
|----------|--|--|
| 主要指標     | 就職件数(一般)   | 3,441件<br>【HW利用促進のための取り組み】<br>職業相談時に窓口で個別求人一覧表を提供後一週間以内に再来所すれば優先的に窓口を案内できる仕組み(Welcome Card)を活用し就職を促します。<br>【求職者担当者制の実施】<br>早期再就職が見込まれる求職者を対象に、正規職員が常時各5名以上を担当し、翌々月もしくは就職の決定まで重点的に支援を行います。  |
|          | 充足数(一般、受理地ベース)   | 2,808件<br>【求人充足のためのフォローアップの実施】<br>求人充足会議において選定した重点求人の充足支援サービス及びフォローアップを行います。<br>【計画的な事業所訪問の実施】<br>正規職員は少なくとも3回以上事業所訪問を行い、求人票記載以上の情報収集を行い所内で情報共有を行うこととします。  |
|          | 雇用保険受給者の早期再就職件数  | 813件<br>【認定日相談を活用した紹介の促進】<br>緊要度に応じ、初回認定日相談、給付制限中の相談等、早い段階で個別求人情報の提供を行いWelcome Cardも活用し雇用保険受給者の早期再就職件数の増加を目指します。<br>【就職支援セミナー受講勧奨】<br>資格決定、初回認定日相談時に直近の就職支援セミナーを案内し、就職活動の初期段階で効率的な就職活動のノウハウを提供することで早期再就職に結びつけます。                     |
| 所重点指標(※) | 生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率                                   | 64.6%<br>【出張相談の実施】<br>安定所に来所して職業相談を希望しているが交通手段が無いなどの理由で来所できない者に対しても、定期的な相談が実施できるよう地方自治体への巡回相談を行います。<br>【関係機関との連携強化】<br>関係機関との連携を強化しケース会議を実施します。その際に、利用者の状況に応じてオンラインも活用した効率的な運用を行います。   |
|          | ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～54歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 496件<br>【就職氷河期世代限定・歓迎求人の確保】<br>正社員求人提出事業所を中心とした求人受理や事業所訪問時に、助成金等の内容を盛り込んだ事業所向けリーフレットを活用した周知を行い、就職氷河期世代限定及び歓迎求人の提出勧奨を行います。<br>【応募書類添削、模擬面接の実施】<br>正社員求人への応募に当たっては書類選考が行われるケースが多いため、積極的に応募書類作成支援、模擬面接を行うことで就職に結びつけます。                  |
|          | 生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数                                   | 128件<br>【60歳以上専用求人確保】<br>求人者支援員を中心に、高齢者雇用に積極的な事業所に対して、生涯現役窓口で把握した希望条件に基づき60歳以上の者が応募可能な求人を開拓します。<br>【企業説明会の開催】<br>高齢者の採用に積極的な事業所を3～5社選定し、所内企業説明会を開催します。幅広い業種を対象とするが、少なくとも1社は人手不足分野の事業所を含め、様々な業種で生涯現役世代が求められていることを実感してもらい就職意欲の喚起に努めます。 |

※ 年度ごとに、地域の雇用に関する課題を踏まえ、安定所が特に重点的に推進し成果を挙げる必要がある業務を目標としている。

## (参考)令和5年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

## 坂出公共職業安定所

| 項目       |  | 目標値    | 年度の事業計画の概要  |
|----------|--|--------|---|
| 主要指標     | 就職件数(一般)   | 1,682件 | 求職者担当者制等の支援を通して把握した求職者のニーズに合わせた求人情報の提供や能動的マッチングを行い紹介成功率の向上を図ります。また、就職支援ナビゲーター等によるオンラインを含めたセミナーの開催や面接会等の取組みを実施し、効果的なマッチングを推進します。   |
|          | 充足数(一般、受理地ベース)   | 1,920件 | 事業所訪問等の機会を捉え、事業所に対して労働市場や職業相談窓口で得た求職者の希望条件等の情報提供を行い、質上げ等を含めた求人条件の向上指導に努めます。<br>また、職業相談担当者や求人参加者が参加する充足会議を実施し、充足強化求人として選定した求人の情報を共有します。特に事業所訪問で得た求人票に記載されている以上の情報を共有し、求職者に提供することで応募を促進します。 |
|          | 雇用保険受給者の早期再就職件数  | 406件   | 初回認定日の相談を充実させるため、認定時間の見直しを行い、積極的に職業相談窓口へ誘導します。雇用保険説明会においては、就職支援ナビゲーター等が行うセミナーの周知や、再就職手当の活用を積極的に進めます。  |
| 所重点指標(※) | 生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率                                   | 64.6%  | 福祉事務所と緊密に連携し、就職支援が必要と思われる者に対し重点的に支援を行います。また、求人部門の担当者や協力し事業所に求人条件の向上指導や業務の切出し提案等を行い、支援対象者の希望、能力、経験等を踏まえた的確なマッチングを行います。なお、助成金等のツールを効果的に利用することで就職率の向上を目指します。                                 |
|          | ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～54歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 193件   | 求職者それぞれの状況に応じた支援を行います。特に臨時的・短期的な就業を中心に求職活動を行っているが、正社員での就職も適当であると思われる者、正社員で在職中であるが就職支援が必要と思われる者等、個々の状況に合わせた支援を行います。  |
|          | 生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数                                   | 98件    | 就職支援ナビゲーター等が実施する求職者担当者制を活用し、個々の能力や課題を十分に把握することで課題解決支援サービスを意識した効果的なマッチングに繋がります。<br>また、一般や高齢者向け等の特定の人を対象とした就職支援セミナーを実施する等、各種支援策を講じます。   |

※ 年度ごとに、地域の雇用に関する課題を踏まえ、安定所が特に重点的に推進し成果を挙げることがある業務を目標としている。

## (参考)令和5年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

## 観音寺公共職業安定所

| 項目   | 目標値  | 年度の事業計画の概要   |
|--|--|--|
| 主要指標   | 就職件数(一般)   | 1,817件<br><b>【新規求職者の確保】</b><br>地方自治体や関係機関と協力して、ハローワークを利用していない就職活動中の者に対しハローワークの利用を呼びかけます。また、高齢者等で雇用保険の支給終了者に、生涯現役窓口の案内及び高齢者向け求人情報を提供することで、労働市場への参加を促します。<br><b>【求人者の確保】</b><br>求人充足会議において、求人数の確保と紹介成功率の向上を図れるような視点から求人者の確保や条件の向上指導を行います。また、パソコンが苦手な者などにもいることから、多様なニーズに対応できるように、求人情報を紙媒体で提供します。<br><b>【就職支援セミナー参加者の確保】</b><br>若年者等で応募書類の書き方や面接の受け方を十分理解できていない者や、定年退職者など、就職活動にブランクがあったり、労働市場の状況を理解できていない者を積極的にセミナーの参加誘導を行い、就職意欲の喚起、正しい就職活動の方法を理解してもらうことで早期就職につなげます。 |
|  | 充足数(一般、受理地ベース)   | 1,769件<br><b>【求人者担当制の実施】</b><br>求人担当者制実施要領のもと、支援対象求人は求人充足会議に諮り、マッチングからフォローアップまでの進捗状況の管理を行います。<br><b>【面接会、職場見学会の開催】</b><br>人材確保が課題となっている分野や管内主要産業である製造業を中心に面接会や職場見学会を実施します。   |
|  | 雇用保険受給者の早期再就職件数  | 484件<br><b>【就職意欲喚起のための取組】</b><br>①認定日全員相談<br>②再就職手当の活用<br>③緊要度の高い求職者に対し双方向型の求職者担当者制を実施<br>④就職支援セミナーの受講勧奨<br>これらの取組により雇用保険受給者の就職意欲喚起を行い、就職に結びつけます。<br><b>【雇用保険受給者に対する早期再就職促進】</b><br>①初回認定日來所者を中心に再就職手当の試算を行います。<br>②職種別の認定日設定をしていることから、認定日來所者の職種に合わせてミニ面接会を実施します。  |
|  | 障害者の就職件数   | 116件<br><b>【障害者求人の確保・就労支援】</b><br>①障害者雇用率未達成事業所を中心に事業所訪問を実施し、障害者雇用への理解を求めます。また、障害者が就労可能と思われる仕事の切り出しに向けた助言も併せて行います。<br>②障害者就業・生活支援センターや障害者職業センター、市福祉課と連携し、障害者の就労支援制度等を活用した雇用へのアプローチを実施します。  |
| ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～54歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 228件<br><b>【求人者の確保】</b><br>求人者支援員を中心に就職氷河期世代専用・歓迎の正社員求人の開拓を実施します。<br><b>【就職への準備】</b><br>応募書類の作成や面接の準備、労働市場の状況の理解が不足している者に対して、積極的にセミナーへの参加を誘導し、正しい就職活動の方法を理解してもらうことで就職意欲の喚起を行い早期就職につなげます。   |  |
| 生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数                                   | 93件<br><b>【高齢者支援求人の開拓】</b><br>有効求職者に占める60歳以上の割合が増加傾向にある中、高齢者が応募できる求人を確保するとともに、パソコンが苦手な高齢者向けに、紙媒体で高齢者支援求人の求人情報一覧を提供します。<br><b>【面接会、職場見学会の開催】</b><br>高齢者専用・歓迎求人を提出している製造業等の事業所を中心とした会社説明会・面接会等を開催します。<br><b>【求職者の確保】</b><br>高齢者等で雇用保険の支給終了者に、生涯現役窓口の案内及び高齢者向け求人情報を提供することで、労働市場への参加を促します。 |  |

※ 年度ごとに、地域の雇用に関する課題を踏まえ、安定所が特に重点的に推進し成果を挙げる必要がある業務を目標としている。

## 令和5年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

## さぬき公共職業安定所

| 項目   |                 | 目標値   | 年度の事業計画の概要  |
|--|-----------------|---|---|
| 主要指標   | 就職件数(一般)        | 1,494件  | <p>【紹介件数の確保】<br/>認定日の全員相談や提案型紹介を積極的に実施することで紹介件数の増加を図ります。</p> <p>【求職者に対する積極的な求人等情報提供】<br/>窓口職員全員が求人票や各種セミナー等の情報を求職者マイページや電話、郵送による方法で1週間に1件以上提供し、来所者の増加を図ります。</p> <p>【求職者担当者制による個別支援】<br/>さぬき・東かがわ所のマッチングプロジェクト実施要領で定める求職者担当者制を用いた個別支援を実施します。</p> |
|  | 充足数(一般、受理地ベース)  | 937件  | <p>【求人担当者制によるフォローアップ】<br/>求人充足会議を月2回開催し、求人担当者制による支援を実施します。</p> <p>【事業所訪問】<br/>事業所訪問等により求人票以上の情報収集を行い、求職者へフィードバックすることで能動的なマッチングを行います。</p> <p>【DAIRY面接会(ミニ面接会)の開催】<br/>さぬき・東かがわ所管内の事業所を中心としたDAIRY面接会の開催を行います。</p>                                 |
|  | 雇用保険受給者の早期再就職件数 | 311件  | <p>【雇用保険受給者の紹介件数の増加】<br/>初回講習や給付制限中の最初の認定日当日に雇用情勢や求人情報、各種セミナー等の能動的マッチングによる早期再就職の意欲喚起を行います。また緊要度・就職意欲が高いと判断される者については求職者担当者制による支援も実施します。</p> <p>【就職支援セミナーの受講勧奨】<br/>就職意欲の醸成と自己の見つめ直しを図るため就職支援セミナーの受講を勧奨し、早期再就職件数の増加を目指します。</p>                    |
| ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～54歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 79件             | <p>【求職者担当者制による個別支援】<br/>さぬき・東かがわ所マッチングプロジェクト実施要領で定める方法により、応募前職場見学等を含めた支援策を推奨することで正社員就職への意欲を醸成します。</p> <p>【就職支援セミナーの受講勧奨】<br/>応募書類の作成や面接の知識が不足している者に対し、就職支援セミナーの受講を勧奨し、就職への不安を拭うことで正社員就職に結びつけます。</p>   |   |
| ハローワークの職業紹介による高年齢求職者(55歳以上)の就職件数(一般)                   | 531件            | <p>地域の雇用に関する課題として、</p> <p>【紹介件数の確保】<br/>労働市場における適切な自己理解を促すとともに積極的に提案型紹介を実施することで紹介件数の増加を図ります。</p> <p>【就職支援セミナーの受講勧奨】<br/>積極的に就職支援セミナーへ誘導し、自己理解や職業理解を促すことで魅力的な応募書類の作成支援を行います。</p> <p>【シニア層向け求人確保】<br/>労働市場におけるシニア層の割合が増加傾向にある中、高齢者専用求人や歓迎求人を開拓し高年齢者の雇用機会の拡大に取り組みます。</p> |   |

※ 年度ごとに、地域の雇用に関する課題を踏まえ、安定所が特に重点的に推進し成果を挙げる必要がある業務を目標としている。

## (参考)令和5年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

## 土庄公共職業安定所

| 項目   |  | 目標値  | 年度の事業計画の概要   |
|------|--|------|--|
| 主要指標 | 就職件数(一般)   | 514件 | 求職者マイページの機能を積極的に活用し、求職者個々の状況にあわせた求人情報を提供します。また、求職者担当者制をより拡大し、適格求人への提供等の積極的提案型紹介を行うことで就職件数の増加につなげます。  |
|      | 充足数(一般、受理地ベース)   | 467件 | 求人充足会議において、事業所訪問等で得た求人票に記載された以上の事業所情報なども的確に提供できるよう部門内で共有します。また、「あとひと押しの支援」で充足できそうな求人について、求人充足サービスを念頭に置いた求人担当者制の活用による条件緩和の提案や求職者担当者制における積極的求人提案型紹介の対象とするなどにより充足に結びつけます。 |
|      | 雇用保険受給者の早期再就職件数  | 108件 | 説明会で再就職手当試算額表の配布や就職支援メニューの説明、セミナー等への誘導を行うことで早期再就職の意識づけを行います。また、認定日には残日数3分の2到達までの早い時期に積極的な求人情報の提供により応募動員を行います。  |
|      | 新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数        | 12件  | 新規学校卒業者や学校卒業後3年未満の既卒者を中心にjob tagを活用した適職探索などで自己理解・仕事理解を深め、管内事情に即した就職支援セミナー(演習コース)へ誘導することにより、管内企業への正社員就職の実現が可能となるような支援を実施します。  |
|      | ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～54歳)の不安定就労者・無業者の件数 | 19件  | 求職者の状態を的確に把握し、正社員就職を希望している就職氷河期世代の求職者については、求職者担当者制による課題解決支援サービス等の支援を行います。また職場実習・体験制度も活用が可能であることの説明を行うことで積極的な応募を促します。   |

※ 年度ごとに、地域の雇用に関する課題を踏まえ、安定所が特に重点的に推進し成果を挙げることがある業務を目標としている。